

R5 全校で取り組む環境活動

高崎市立入野小学校

1 取組の概要

入野小学校では、平成17年度から4年間「エネルギー環境教育実践校」となったのをきっかけに、省エネ・エコ活動、緑化活動を環境教育に位置付けて活動してきた。感染症対応のため、例年のようにはできない部分もあるが、感染対策を講じながら、環境・給食委員が中心となって、児童が自ら無理なく取り組める活動を展開した。

2 令和5年度の活動内容

(1) 省エネ・エコ活動

- 使っていない教室やトイレの電気はこまめに消す。
- 暖房や扇風機、エアコンは無駄につけない。
- 習字の筆は、ビンやバケツの水で洗っている。
- ペットボトルのキャップを集めて「ワクチンをおくる運動」に協力している。
- 清掃時、雑巾はバケツの水ですすいでいる。



(2) 緑化活動

- 各クラスで学級の花壇に、マリーゴールドやパンジーの苗、チューリップの球根を植え、水やりや草むしりをしながら世話をしている。
- 環境委員を中心に種から育てたマリーゴールドやおじぎ草をプランターに植えかえて、校舎内に飾り、全校児童や来校者に見てもらっている。
- クラスプランター運動では、色鮮やかなキンセンカの花を各クラスで2つのプランターに植えて育てる活動に挑戦をしている。環境・給食委員が秋に種をまき、それぞれのクラスで育てた花を卒業式の会場に飾っている。この活動は今年で23年目になる。
- 6年生を中心に「かたくりの里」の環境保全啓発看板の製作・設置を地域と協働しながら取り組んでいる。今年度は、8枚の看板を制作・設置し、「かたくりの里」の保護を呼びかけた。



3 取組の見直しと今後の活動

- 節電・節水、紙や牛乳パックのリサイクル、ペットボトルのキャップの回収を継続し、子どもたちの環境への意識を高めたい。
- 花壇の整備を進めたり、グリーンカーテンを増やしたりして、学校内の花や緑を増やし、花いっぱい学校を目指して、緑化活動を進めていきたい。
- 環境委員を中心に活動が広く児童に伝わるよう働きかけ、呼びかけをする。
- 日中の日差しを遮るようアサガオやゴーヤでカーテンを作り、緑化と省エネに役立たせたい。
- クラスプランター運動の花の種類や栽培方法を考え、よりよい花が咲くよう工夫する。
- 入野地域の大切な宝「カタクリの里」の環境保全活動として、啓発看板の制作・設置を継続していくと共に、コロナ前のように、除草や清掃活動に取り組んでいきたい。

